

各業務：地域医療連携室

1. 地域医療連携室

《体制》

事務職：男性2名、女性6名
 （常勤1名、非常勤2名、臨時職員5名）
 看護職：女性1名（副看護局長兼務）

《業務》

地域医療連携室は、地域の保健・医療・福祉機関などと連携をはかり、地域ぐるみの医療サービスシステムを効率よく円滑に運用していくことを目指している。

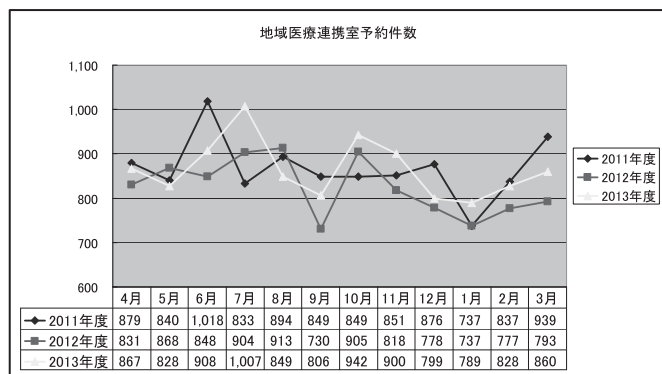
地域医療連携室は地域の中核病院として、かかりつけ医である開業医の先生、地域の病院の先生、福祉関連事業所の担当者と連携を図り、紹介・逆紹介を活発にし、良質な医療を提供し地域医療に貢献していくための対応窓口としての業務をおこなっている。

《実績》

① 地域医療予約件数(2013年4月～2014年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予約件数	867	828	908	1,007	849	806	942	900	799	789	828	860	10,383

（詳細：別表「診療科別データ」参照）



※地域予約件数(月別)を年度比較した数値をグラフ化したデータ(2011年度～2013年度)

年度推移からも地域医療連携室を経由した紹介依頼件数は安定し、少しずつ増加している。

診療科別データ

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	28	19	30	28	25	25	26	23	15	17	17	21	274
総合内科・感染症内科	0	1	2	2	4	3	6	4	6	5	0	6	39
血液内科	15	13	10	9	10	9	5	8	8	6	11	10	114
腎臓内科	14	32	30	38	28	22	28	23	26	16	33	16	306
消化器科内科	38	32	25	54	46	26	37	55	55	30	25	30	453
循環器科内科	129	114	103	117	107	87	128	112	93	103	99	119	1311
呼吸器科内科	21	16	33	27	23	28	32	31	27	20	15	15	288
肺腫瘍内科	4	3	6	4	4	10	9	19	16	12	2	7	96
神経内科	18	19	19	16	23	16	14	12	15	17	21	20	210
小児科	11	12	13	19	17	22	15	20	10	13	7	16	175
外科	50	60	70	55	57	63	61	51	56	56	62	68	709
呼吸器外科	8	7	7	5	3	2	3	5	3	5	10	6	64
心臓血管外科	16	14	11	24	9	13	18	15	12	12	11	13	168
脳神経外科	36	40	43	41	35	36	57	38	27	34	35	39	461
整形外科	44	42	37	52	40	37	40	31	41	24	41	35	464
形成外科	33	25	18	31	29	23	33	28	23	27	22	26	318
眼科	16	16	20	15	15	20	21	16	17	16	17	15	204
耳鼻咽喉科	42	47	54	41	51	45	40	38	48	48	41	42	537
泌尿器科	25	24	29	28	27	25	23	29	30	29	40	38	347
産婦人科	41	46	43	52	33	38	54	50	46	48	40	36	527
放射線科	152	145	199	223	169	166	180	183	125	156	158	178	2034
放射線治療科	0	1	2	1	1	1	0	0	1	0	1	1	9
麻酔科	1	3	2	0	0	1	5	1	2	0	0	0	15
リハビリテーション科	1	2	5	1	1	1	0	0	2	3	3	0	19
歯科口腔外科	124	92	96	124	87	81	100	100	91	88	112	98	1193
救急科	0	3	1	0	4	4	4	5	4	4	5	5	39
救命診療科	0	0	0	0	1	2	3	3	0	0	0	0	9
小計	867	828	908	1007	849	806	942	900	799	789	828	860	10383

② 紹介率・逆紹介率(2013年4月～2014年3月) (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
紹介率	57.3	54.9	55.9	57.3	53.9	60.5	57.3	59.9	57.0	57.7	60.3	59.2	57.5
逆紹介率	81.0	76.0	78.8	73.7	67.9	76.4	79.5	79.3	78.4	74.0	78.2	82.0	77.0

※地域医療支援病院用の算出基準にて率を算出

2013年度は紹介率が57.5%、逆紹介率が77.0%で、年々増加傾向にある。

③ 地域連携クリティカルパス導入件数

(2013年4月～2014年3月)

地域医療連携室では、病診・病病連携の推進の一環として、地域連携クリティカルパスの導入に積極的に関わっている。

●がん地域連携パス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
乳がん	18	11	11	8	8	7	9	1	6	2	6	5	92
肝がん	1	0	2	1	1	0	0	1	0	0	2	0	8
胃がん	1	1	2	1	2	0	0	0	0	0	1	0	8
大腸がん	4	7	5	2	4	0	2	1	4	0	4	2	35
合計	24	19	20	12	15	7	11	3	10	2	13	7	143

●脳卒中地域連携パス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳卒中	15	16	12	6	5	13	12	11	10	9	6	10	125

●大腿骨地域連携パス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大腿骨頸部骨折	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

④ 医療従事者対象の勉強会・研修会(事務局)

地域医療連携室では、医師会をはじめとした地域の医療従事者向けの勉強会・研修会の事務局の役割を担っている。

＜りんくうカンファレンス＞

隔月（奇数月）の第3木曜日に開催している。（主催は泉佐野泉南医師会）

2013年度は計6回開催された。

【詳細は院内行事のページ参照】

＜臨床集談会＞

毎月の第4木曜日に開催している。地域の医療従事者および当院の研修医向けの内容。

【詳細は院内行事のページ参照】

⑤ 市民健康講座の開催

＜市民健康講座＞

8月・12月を除く毎月第3土曜日に、当院3階大会議室において市民健康講座を開催している。

【詳細は院内行事のページ参照】

⑥ その他

＜第2回 りんくう地域医療懇話会＞

2013年11月21日（木）、『第2回 りんくう地域医療懇話会』を開催した。

（於：スターゲイトホテル関西エアポート4階 真珠の間・鳳の間）

今回は「南泉州における地域完結型医療の実現に向けて」というテーマにて、関係機関の皆さんにご講演をいただく形式のシンポジウム等を行った。

シンポジウム「南泉州の医療を考える」

1. 開会のあいさつ

地方独立行政法人りんくう総合医療センター
八木原 俊克理事長

2. 「今後の地域医療のあり方」

大阪府医療対策課 永井 仁美課長

3. 「泉佐野・泉南地区における医療連携について」

泉佐野泉南医師会 野上 浩實会長

4. 「地域医療支援病院としての当院の役割」

りんくう総合医療センター 伊豆蔵 正明病院長

5. 「なすびんネット（泉州南部診療情報ネットワークシステム）の紹介」

りんくう総合医療センター放射線科

櫻井 康介部長

株式会社エスイーシー情報処理事業本部

執行役員 伊藤 龍司副本部長

＜泉州南部診療情報連携システム

（通称：なすびんネット）整備事業＞

地域医療再生基金の事業として、なすびんネットの整備事業を展開した。2013年10月より試行運用を開始し、2014年度からの本番稼働に向けての準備を行った。

2. 地域医療連携室（MSW）

《体制》

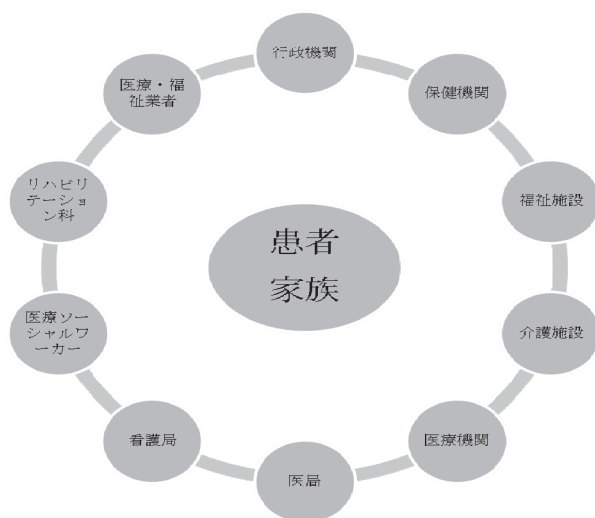
医療ソーシャルワーカー（MSW）5名（社会福祉士5名）：男性1名、女性4名（常勤3名、非常勤2名）

今年度の体制は、4月の大阪府立泉州救命救急センターとの移管統合を受けて、三次救急搬送患者も含めた相談業務も行うこととなった。

《業務》

MSWは患者とその家族の生活や傷病の状況から生じる経済的・社会的・心理的不安や問題等の解決に必要な社会資源の情報提供や活用の助言・指導等を行い、院内の関係職種・地域の関係機関との連携を密にし、患者が安心して療養できるよう支援することを目的とした業務をおこなっている。

医療費の助成制度、生活費に関すること、転院やかかりつけ医紹介、在宅医療・介護、社会保障制度、家族関係の問題など多岐にわたる相談に応じている。



《基本方針》

■ 中立的な立場から、患者・家族等と関係職種・医療機関との信頼関係の構築を支援する。

■ 必要に応じて関係職種、関係機関との連携を図り、相互に情報・意見交換を行い、相談援助体制を構築する。

■ 患者の自律性、主体性を尊重し、患者との積極的な関わりのもと問題整理を援助し、解決方策の選択肢を提示する。

■ 社会的に求められる守秘義務を遵守する。

■ 最良の実践をおこなうために研修などに参加し、専門性の向上に努める。

《実績》

昨年度に引き続き、退院調整加算や新生児特定集中治療室退院調整加算、退院時共同指導料、介護支援連携指導料、救急搬送患者地域連携紹介加算の算定に向けた取り組みとして、医局・看護局との連携により、2012年度から総合アセスメントシートを運用した入院時スクリーニングを実施し、支援が必要と考えられる患者を抽出し、退院支援計画書の運用につなげている。また、今年度より病棟と協働し、積極的に患者の在宅復帰の支援を行い、各関係機関と連携し、必要に応じて退院前カンファレンスを行い、介護支援連携指導料に結びつくよう取り組んでいる。

相談件数においては1名人員増に伴い、1人あたりの対応件数は大きく増加している。相談内容の中で最も多かった項目は例年通り、転院調整であったが、在宅調整についての相談は前年度と比較して増加しており、実件数にすると約4倍近くの増加(56件から209件へ)となっている。

今年度の実績では、延べ相談支援件数は新規・継続合わせて9,464件であり、一日あたり約43件(前年度は約35件)の相談に応じている。相談援助内容のうち転院調整が例年通り最も多く、全体の約50%であった。

周産期においては、妊婦の抱える様々な社会的な問題の支援、関係機関との連携を密におこなっており、2009年から継続して行っている大阪府産婦人科医会の未受診や飛び込みによる出産等実態調査報告書の作成に協力した。また、産科医とともに「安心母と子の委員会」に参加した。2012年9月より「妊婦等について悩まれている方のための相談援助事業」が大阪府下で開始となり、妊婦期からの妊娠・出産・子育て等に係る相談体制等が整備され、当院は地域の後方支援病院としての役割を担うこととなった。

《対外活動実績》

① 大阪府産婦人科医会

安心母と子の委員会に4月18日、5月30日、6月27日、8月8日、9月19日、10月17日、11月28日、12月19日、2月16日、3月6日の計10回出席。

・2013年度未受診妊婦実態調査

・医師向け研修会(9月26日)

「大阪府未受診妊婦調査報告」

・大阪府内中学校高等学校向け研修会(11月9日)

「10代の妊娠について考える-大阪における未受診妊婦実態調査報告会-」

・関連団体向け研修会(1月23日)

「妊娠期からの子どもの虐待予防対策～医療・保健・福祉の連携について～」 等

② 南泉州地域医療介護連携協議会

5月16日、10月17日、2月20日の計3回開催。

急性期病院と介護支援事業所との連携をテーマに南泉州地域の介護・医療のこれからの連携について、協議会を通して検討した。(於:泉佐野保健所)

③ 大阪緊急連携ネットワーク 地域連携担当会議

4月23日、7月23日、10月29日、1月24日の計4回開催(主催は日本慢性期医療協会)され、3次救急病院と慢性期病床の連携カンファレンスをおこなった。

④ 自殺未遂者支援事例検討会

毎月第一火曜日に出席している。(主催は大阪府こころの健康総合センター)

2013年度は計10回開催され、府内における自殺未遂者及びその家族に対する地域関係機関との連携支援についての課題や解決方策について事例を提出し、検討した。

⑤ 地域包括ケア会議

各関係機関の現状報告(各地域包括支援センター、保健所、保健センター、泉佐野市役所、当院)で主に高齢者の生活・住宅について協議・事例検討会をおこなった。

⑥ 大腿骨地域連携パス会議

11月20日の地域連携パス定例検討会に出席。

南泉州地域における大腿骨地域連携パスの運用について協議した。

⑦ 泉州地域リハ連携会議

7月27日、1月25日の計2回開催(事務局:府中病院)

南泉州地域におけるリハビリについての課題について急性期病院、回復期リハ病院、医療療養型病院、連携開業医と情報共有をおこない、地域連携パスの運用について協議した。

【相談業務実績】

	区分		援助方法			援助対象						援助内容						
	新規	継続	面談	電話	文書（メール・FAX）	本人	家族	関係者（知人・後見人）	院内スタッフ	院外	転院調整	在宅調整	受診・受療	心理の問題	経済の問題	制度紹介	院内調整	
4月	170	493	322	573	134	246	296	2	507	465	356	125	86	32	48	64	80	
5月	220	543	380	624	175	269	309	2	580	532	416	129	72	51	63	78	75	
6月	183	631	380	650	163	258	319	3	602	526	426	164	77	54	52	79	100	
7月	201	600	356	689	182	255	339	5	602	555	468	128	67	64	70	79	75	
8月	214	622	367	732	219	286	358	14	648	582	542	122	63	77	57	64	80	
9月	211	561	359	653	168	267	361	8	560	540	484	126	58	39	40	57	63	
10月	243	562	328	673	174	218	334	6	554	565	465	120	60	41	60	60	87	
11月	233	531	331	667	155	207	341	3	532	540	440	112	81	70	74	59	77	
12月	199	563	362	651	199	255	355	11	527	521	481	108	53	56	49	67	72	
1月	238	650	387	704	212	254	375	6	568	555	505	131	74	107	80	92	75	
2月	216	565	367	641	187	252	350	7	498	508	473	121	64	79	68	66	64	
3月	242	575	363	679	156	248	352	8	509	535	497	125	76	83	55	72	57	
計	2570	6896	4302	7936	2124	3015	4089	75	6687	6424	5553	1511	831	753	716	837	905	

【転院調整実績】（外来から他院、入院から他院への転院）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来から他院	6	10	9	11	6	6	11	16	19	18	9	15	136
入院から他院	68	75	57	79	79	89	93	86	93	85	86	84	974

【急性期病棟等退院調整加算 1 算定状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退院支援計画書 作成件数	20	26	18	19	21	15	15	11	14	29	15	29	232
算定件数	17	16	24	20	22	15	20	14	15	33	22	45	263

